

美術にアクセス!

たかんかく かんしょう

——多感覚鑑賞のすすめ

2021年6月5日[土]—8月1日[日]

「美術にアクセス!」展は、視覚だけでなく触覚や聴覚を活用したり、想像力を駆使してさまざまな感覚をつなげてみたりしながら(例:絵画に音や香りを感じてみる)、自らすすんで美術を鑑賞することを提案する展覧会です。三重県立美術館が所蔵する絵画、彫刻、版画等に加え、それらの鑑賞に役立つ教材等約50点を展示します。



「美術にアクセス!」とは?

——「access」という言葉には、利用する権利や機会を得るという意味があります。美術館において、この言葉は美術館を利用しづらい人（例えば障がいのある人）向けの取組に関連付けて用いられてきました。そのような経緯を踏まえ、今回の展覧会では「アクセス」の語をタイトルに使用しています。

また、「美術にアクセス!」というタイトルには、誰もが自分からすすんで、能動的・主体的に美術を鑑賞するという期待も込めています。

「多感覚鑑賞」とは?

——複数の感覚を使うという意味の「多感覚」と「鑑賞」を組み合わせた造語です。特別支援学校との連携事業で五感を活用する鑑賞プログラムを行った経験等から着想して、「特別支援学校の生徒」や「障がいのある人」「子ども」に限らず、すべての来館者が感覚や想像力を駆使して作品を享受できるような鑑賞を提案しています。

展覧会開催の経緯は?

——2018年3月、三重県立美術館は「誰もが利用しやすい環境」を整えることを活動指針の一つに決めました（「三重県立美術館のめざすこと」）。「めざすこと」の策定に前後して、当館は、県内の特別支援学校等との連携事業も進めてきました。

障がいのある人向けの教育プログラムや教材は、さまざまな人の潜在的なニーズにも応え得る、示唆に富んだものです。視覚という感覚の特性上、もとより視覚芸術に自分から「アクセス」するのは難しいもの。この展覧会で紹介する鑑賞方法は、障がいの有無にかかわらず、誰もが能動的で充実した体験をするヒントになるのではないのでしょうか。



触覚や聴覚を使うとは？

——会場では、目が見える／見えにくい／見えないにかかわらず、一部の彫刻作品にさわることができます。また、過去に作成したさわれるツール（例えば、凹凸のある作品の簡易図）や音声ガイドも作品と一緒に紹介します。

音声で聞く解説は、会場設置の機器だけでなく、ご自身のデバイス（スマートフォンやタブレット等）からもウェブサイトアクセスして聞くことができるようにします。会場では、イヤホンや手袋も希望者に配布する予定です。

展示されるのはどのような作品？

——これまで、展示補助教材（鑑賞支援ツール等）が多く開発された絵画や、聴覚や味覚、嗅覚、皮膚感覚等を喚起する絵画、彫刻・立体、版画、水彩素描等。すべて三重県立美術館の所蔵品です。



■ 展覧会概要

美術にアクセス!——多感覚鑑賞のすすめ

会期=2021年6月5日(土)–8月1日(日)

主催=三重県立美術館

助成=公益財団法人三重県立美術館協力会



令和3年度 文化庁 地域と共働した博物館創造活動支援事業
三重とこわか国体・三重とこわか大会文化プログラム事業

観覧料=一般700(500)円 学生600(400)円 高校生以下無料
()内は20名以上の団体割引料金

*この料金で「美術館のコレクション」、「柳原義達の芸術」もごらんいただけます。

*障害者手帳等をお持ちの方および付きそいの方1名は無料。観覧券売場には並ばず、展示室入口で手帳をお見せください。

*生徒・学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。

*県内学校(小学校・中学校・高等学校・特別支援学校)等が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

*毎月第3日曜の「家庭の日」(6月20日、7月18日)は団体割引料金でござらんいただけます。

*6月6日(日)、26日(土)、7月3日(土)、22日(木・祝)、8月1日(日)の14:00–17:00は、さわれる作品の数が増えます。

*会場でのサポートをご希望の方は、事前にご連絡いただくとスムーズです。

三重県立美術館へのアクセス

住所 〒514-0007 三重県津市大谷町11番地

TEL. 059-227-2100 / FAX. 059-223-0570

URL: <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>



▼徒歩

津駅(近鉄・JR)西口より約10分

▼バス

津駅(近鉄・JR)西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」、「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」、「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分、「美術館前」下車徒歩約1分

▼車

津ICより約15分、無料駐車場(約130台)あり

■関連プログラム(参加無料)

★のついたプログラムは美術館ウェブサイトの専用フォームからの申込。ウェブ申込をご希望でない方はご連絡ください。要約筆記や手話通訳、その他支援の必要な方は事前にご相談ください。プログラムは今後の状況に応じて内容を変更する場合があります。

1. 「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」(対面/オンライン)

見えない人や見える人が一緒に、見えることや感じることを言葉にしながら、三重県立美術館の所蔵品数点をじっくり鑑賞します。

ナビゲーター:「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」メンバー
ウェブ申込フォームによる事前申込【申込メ切:7月2日(金)17:00】
定員各回8名 応募者多数の場合は抽選

①【ウェブ申込】美術館でのプログラム(対面)★

日時:7月17日(土)14:00-16:30(2時間30分)

会場:美術館企画展示室

②【ウェブ申込】オンラインプログラム★

日時:7月18日(日)13:30-16:30(3時間)

方法:オンライン会議システムZoomによる開催

2. ワークショップ「あなたとわたしのバランス」(対面)

石粉粘土を握って、やじろべえを作ります。

講師:宮田雪乃+金光男(美術作家)

会場:美術館美術体験室(柳原義達記念館B1F)

①【申込不要】「握る」

石粉粘土を握ります。

日時:6月12日(土)、7月10日(土)14:00-16:00(開室時間)

予約不要の立ち寄り式/所要時間10分程度/入室をお待ちいただく場合あり

②【当日整理券】「バランスをとる」

誰かが握った粘土と自分の握った粘土のバランスをとるやじろべえを作ります。

日時:6月13日(日)、7月11日(日)11:00-12:00、14:00-15:00(各回1時間)

定員各回10名(各回開始1時間からインフォメーションで整理券配布)

■関連プログラム(参加無料)

★のついたプログラムは美術館ウェブサイトの専用フォームからの申込。ウェブ申込をご希望でない方はご連絡ください。要約筆記や手話通訳、その他支援の必要な方は事前にご相談ください。プログラムは今後の状況に応じて内容を変更する場合があります。

3. 担当学芸員によるスライドトーク(対面/オンライン)

展覧会の成り立ちや、美術館の取組について話をします。

①【申込不要】美術館でのトーク(対面)

日時:6月19日(土)、7月4日(日)14:30-15:10(40分)

会場:美術館講堂(柳原義達記念館B1F)

定員40名(整理券なし)

②【ウェブ申込】オンライントーク★

日時:7月25日(日)14:30-15:10(40分)

方法:オンライン会議システムZoomによる開催

ウェブ申込フォームによる事前申込【申込メ切:7月16日(金)17:00】

定員80名 応募者多数の場合は抽選

4. 投稿プログラム「カタリナにアクセス!」(リモート)

所蔵品《アレクサンドリアの聖カタリナ》を紹介する「あいうえお作文」を考え、参加キットを使って投稿します。送料不要。点訳やメールでのやりとり等をご希望の方はご相談ください。

申込・配布期間:5月20日(木)~8月1日(日)参加キットがなくなりしだい終了

①【ウェブ申込】★

申込フォームに住所を記入→美術館から参加キット発送→ハガキを美術館に送る→美術館で公開

②【美術館で受取】

美術館インフォメーションで配布する参加キット受取→ハガキを美術館に送る→美術館で公開



広報用画像申請用紙

ファクシミリをご利用の方は、ご希望の画像に☑を入れ、申請者情報を記入し上の宛先にお送りください。申請者情報と画像番号をEメールでお送りいただいても構いません。受付後、JPEGまたはTIFFの画像データとキャプションのテキストデータをEメールでお送りします。

ご所属／	担当者氏名／
掲載媒体名称／	
電話番号／	メールアドレス／

- 1ページの写真
- 3ページ左上の写真
- 3ページ左下の写真
- 3ページ右上の写真
- 3ページ右下の写真

過去の鑑賞支援ツールの展示風景

三重県立城山特別支援学校高等部とデザイナー楠木一徳氏 (KUSUKI DESIGN) との
共同開発 撮影:松原豊

- 2ページの作品画像

中澤弘光《絵葉書『美人と感覚』より 嗅(女学生)》1905(明治38)年 木版・紙
三重県立美術館蔵

- 6ページの作品画像

バルトロメ・エステバン・ムリーリョ《アレクサンドリアの聖カタリナ》1645-50年頃
油彩・キャンバス 三重県立美術館蔵

◆掲載にあたってのお願い

- ・上記キャプション(作家名、作品名等)を画像と一緒に掲載してください。短縮希望の場合はご相談ください。
- ・作品画像への文字乗せ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載物を2部、または紙面データを美術館にお送りください。
- ・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨、明記してください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。

◆お問合せ先

三重県立美術館 学芸普及課 【広報】高曾(こうそ)、内藤 【企画】鈴村
TEL. 059-227-2100(代表) / FAX. 059-223-0570
E-mail: bijutsu2@pref.mie.lg.jp